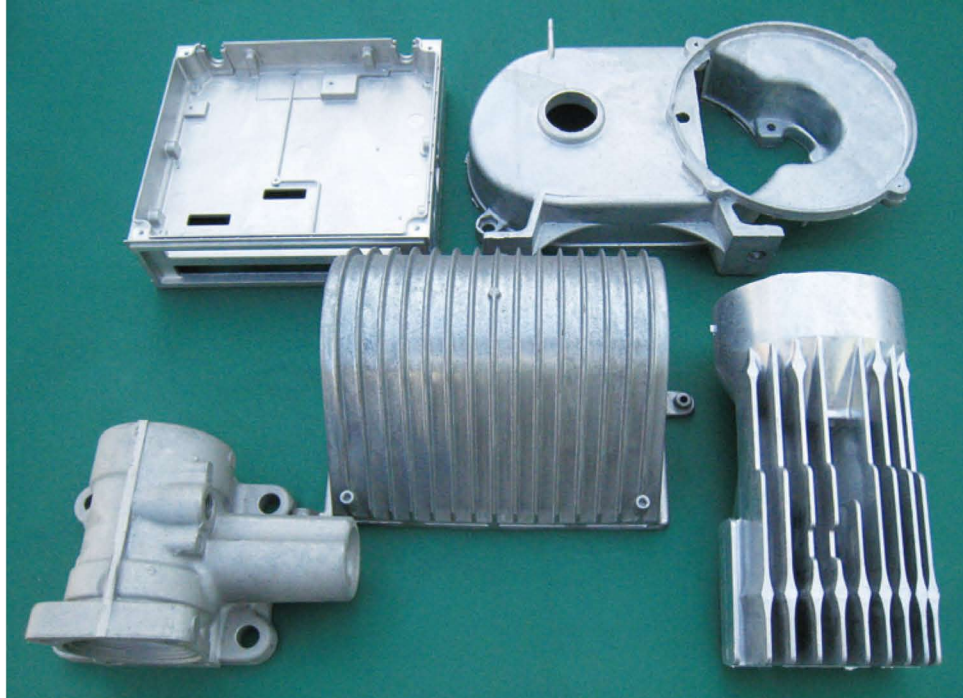


ダイカスト製品で培った 技術を新分野にも投入

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- メイドインジャパン
- 試作可 小ロット
- 量産対応



ロボット機器や医療機器等

業務内容

自動車&家電に欠かせない
ダイカスト製品を製造

家電部品メーカーの依頼を受けて、アルミダイカスト製品の検査部門として事業をスタートさせたDCウエムラ。その後、検査部門の内製化が進んだのを機に本格化させたのがダイカスト製品の製造だった。今では家電メーカー関連会社に加え、国内自動車メーカーからも受注がある。

その他、照明器具や自販機配管等と、多彩な分野で同社の技術が活かされている。



ダイカストマシン

強み

現状に満足せず
向上と発展を目指す

自動車用部品に特に求められるのは高い機密性だ。同社では、圧縮時に入り込んでしまう内部ガスを低減させるため、高真空鑄造を採用。家電用部品では薄肉の、美しい鑄肌が求められるため、超高速鑄造を採用している。しかも、納入するには厳しい条件をクリアした高品質・高精度のものに限られることから、常に品質改良、技術向上を目指し、企業努力を続けてきた。近年では大手メーカーからの鑄造委託のみならず、異業種交流会で構築した

ものづくりネットワークを活かして、自社や同業社では対応できない困難な案件に対しても積極的に取り組む体制を整えている。

企業質

顧客の信頼と期待に
応え続けて30年

上村社長曰く「技術畑出身ではない私が製造業を営み、高い技術と品質を誇れるようになったのは、すべてお客様のおかげです」。

リーマンショックや震災等の影響で、売り上げが落ち込む時期もあったが、苦しい時こそ新たな出会いがあった。「こんなものではできないか」といった依頼に対し全力で応えた結果、新しい仕事や事業につながり苦境を乗り越えられたという。そうした経験から得たものの、それが、顧客のどんな要望にも「できません」と言わない姿勢なのである。

今後の展望

アルミダイカスト+αで
新境地を目指す

同社の主力製品はアルミダイカストだが、最近ではシリコンゴム製品にも着目。長年培った高度な技術と、より良い素材をより安く仕入れるノウハウを投入し、トラックの荷台と幌やシートとを結ぶ際に必要なゴムロープの使い勝手を良くするコネクタ部品を開発した。

今後もアルミダイカスト技術を極め、高品質な製品をより安く、小ロットから量産まで幅広くつくり出す姿勢を変えることなく、さらに、新たな付加価値を追求して、オリジナル製品の開発や製造にも着手していく考えだ。

COMPANY PROFILE

株式会社DCウエムラ

大阪 24



昭和58年に民家の1階を間借りして、車1台とやすり1本でパートさん5名とで創業しました。機械加工された部品や素材を磨いて仕上げることから始まり、お客様のご縁に支えられ、努力と研究を重ねた結果、現在のような製造業へと事業を拡大していくことができました。30年近い実績と信頼を頼りに、今後も誠心誠意、お客様の要望に応えていきます。

「この会社に入って良かった」「発注して良かった」と思われる企業を目指します。

代表取締役 上村 富成さん



■主な事業内容

精密ダイカスト製品の
製造・販売 等

■主な取引先（納入先）

自動車部品メーカー、
建築金物メーカー、自
動販売機メーカー 等

住 所／〒581-0851

八尾市上尾町
6-19-1

T E L／072-998-3238

F A X／072-998-5599

創 業／昭和58年5月

設 立／平成23年12月

資本金／500万円

従業員／7名

<http://www.dc-uemura.com>